



PRESS RELEASE

報道関係 各位

2025年5月23日
公益財団法人日本パラスポーツ協会

公益財団法人日本パラスポーツ協会 設立 60 周年
会長コメント及びロゴマークの発表について

当協会は、2025年5月24日、設立60周年を迎えるにあたり、会長コメント及び60周年ロゴマークを発表致します。

会長 森 和之 コメント

日本パラスポーツ協会は、1965年に厚生省の認可により財団法人日本身体障害者スポーツ協会として設立されました。その前年1964年11月に行われた『国際身体障害者スポーツ大会』第1部の国際大会、後に東京パラリンピックと呼ばれるこの大会は様々な国の身体障がい者が一堂に会し、スポーツを通して心身の向上に努めてきた成果を披露し互いの健闘を称えあい、国境を越えた友情や連帯感を深める機会となりました。当協会はこの機運を継続、発展させるべく誕生に至りました。

設立当時の障がい者のリハビリテーションのツールとしての役割から徐々に、障がい者が健常者と同様に QOL(生活の質)を高めるスポーツとしての役割が増し、現在では国際的競技レベルにあるパラリンピックアスリートの活動まで幅広く対応して、あらゆる障がい者が身近に取り組み楽しめるパラスポーツの普及振興を通して、多様性を認め合い互いに支えあう活力ある共生社会を目指す重要なミッションを基盤に設立60年を迎えることができました。

此れもひとえに、パラスポーツの普及・振興、競技力の向上にご助力いただきました、皇室、日本政府、厚生労働省、文部科学省、スポーツ庁などの関係省庁、日本スポーツ振興センター、日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、各パラスポーツ競技団体及び都道府県・市パラスポーツ協会、パラスポーツ指導者協議会、パラスポーツセンターやパートナー企業の皆様、またパラスポーツを広報し普及振興にご尽力下さった報道機関をはじめ、多くの皆様のご理解・ご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

我が国は二度目の自国開催となる東京2020パラリンピック競技大会を厳しいコロナ禍にも関わらず成功させ、昨年のパリ2024パラリンピック競技大会における日本代表選手団は“挑め、自分史上最強。”のスローガンの下で大活躍してくれました。また全国障害者スポーツ大会や各競技の様々な大会が全国各地で毎年開かれています。こうした一連の活動は障がい者に対する社会の理解を一層深め、スポーツの力とともに、パラスポーツが社会を豊かにする力となり得ることを証明しています。私どもは活力ある共生社会の実現を一層確実にすべく、引き続き努力して参ります。

以上



60周年記念ロゴ

日本パラスポーツ協会設立 60 周年を記念し、本ロゴは六角形モチーフをデザインしました。

六角形は調和と安定を象徴し、60 年の信頼や協力を表現しています。

数字の中には多様な人々が手を取り合う姿が込められ、無限の可能性を示す「∞」が浮かび上がります。

右上がりのデザインは、これまでの歩みを基盤にさらなる飛躍を目指す姿勢を表しています

※ロゴ使用ガイドラインについては、別途お問い合わせください。



< 本件に関するお問合せ先 >
公益財団法人日本パラスポーツ協会 企画広報部 担当:黒田、堀添
Mail:jpcjpsa-media@parasports.or.jp

JPSA OFFICIAL PARTNERS

